FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2016 月刊　11月号　第311号

平成３年１月創刊

社会福祉法人 滴翠会

４０周年記念合同慰霊祭

合同慰霊祭

社会福祉法人滴翠会創立40周年記念合同慰霊祭が10月15日、華翠会舘ホールで厳修されました。

法人創設以来今日までの先亡精霊は、養護老人ホーム滴翠苑七十八名、救護施設慈翠舘三十九名、特別養護老人ホーム明翠苑三一九名の皆様です。

当日は、デイサービスセンター華翠会舘ホールに祭壇が設けられ、各施設のお亡くなりになった方々のご遺族、各施設の利用者、施設長はじめ職員の皆さんが参列しました。

ご導師様３名による読経のあと、ご遺族、利用者の皆さんと、職員によって焼香が行われ、祭壇に向かって手を合わせ、参列者全員で故人のご冥福をお祈りしました。

その後、ご遺族の方々の記念撮影を行い、昼食となりました。昼食では、明翠苑調理員特製のお弁当を召し上がって頂きました。

ご遺族の皆様ご出席下さいまして誠にありがとうございました。

●養護老人ホーム
滴翠苑（てきすいえん）だより
かすみがうら市横堀四五一―五
TEL　〇二九九―五九―三六三一

遠　　足

遠　足

朝夕はめっきり冷え込んできた10月17日に17名の利用者の方がつくば市の湯ワールドで観劇を楽しまれました。

清水の次郎長が登場する「身代わり半次郎」という時代劇では、新米の付き人である半次郎が身体を張って藩を守り帰らぬ人となる物語でした。

通常ならば涙なくしては語れないお話なのですが、そこかしこにコミカルな役者の動きを取り入れていて、観客も笑いの渦に包まれていました。

お芝居の後は舞踊ショーの「根性絵巻」です。色鮮やかな羽織をまとった踊り子さんが、色とりどりのスポットライトが照らす煙幕の中を、リズムの良い曲に合わせて舞踊する姿は、幻想的な雰囲気を醸し出していました。

『おもしろかったよ』との感想が聞かれ、一年振りの観劇を楽しまれていました。

介護体験実習を通して

茨城キリスト教大学　堀井　一樹

今回の5日間の介護体験を通して、利用者の方とコミュニケーションをとりながら様々な体験をさせてもらいました。

介護を初めて体験しましたが、滴翠苑での体験は自分の介護というイメージのものとは少し違ったもので自立を促したり見守ることも介護であると認識しました。また職員の方々の明るい雰囲気のおかげで、利用者の方々も笑顔が絶えない明るい姿が見られました。職員の方だけでなく利用者の方からも色々教わることができた良い体験でした。

社会に出た後も、今回の体験で学んだ相手を思いやる心を忘れずに生活していきたいと思います。

傾聴ボランティア

傾聴ボランティア

10月16日に傾聴ボランティアまごころの皆さんが来苑され今回は折り紙を使った紙相撲を教えて下さいました。

利用者の皆さんが丁寧に説明を受けて関取を折っている中、一人で何体も折る強者もおりました。また、悪戦苦闘しながらも利用者さんはボランティアの皆さんの手を借りて、何とか折り上げる事ができました。

利用者さんの関取が出来上がったところで、トーナメント方式の試合をしました。試合中、白熱しすぎて土俵をひっくり返してしまう人、それを見て大笑いする人、皆さん楽しいひと時を過ごしました。優勝した利用者さんはボランティア代表の方からプレゼントを頂き喜んでおりました。ボランティアの皆様、誠にありがとうございました。

給食施設等の巡回指導

管理栄養士　高田恵美子

平成二十八年十月二十七日土浦保健所による巡回指導が行われました。

衛生関係書類では、検収時の記録簿に、賞味期限を記入する事で、食中毒発生時、発生原因の検証に役立ちますとの指導がありました。

これを受け、翌日から記録簿に賞味期限の欄を設け記入しています。

厨房設備巡視では、40年経っているとは思えないキレイな厨房とのお褒めの言葉をいただきました。今後も利用者様の健康維持、増進のため栄養的に価値があり、衛生的に安全な給食作りを心がけたいと思います。

✤11月の行事

文化祭　11月10日
苑内ショッピング　11月19日

●救護施設
慈翠舘だより

石岡市半ノ木一一一四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

開会式の様子

文化祭

11月3日、第三十七回慈翠舘文化祭が開催されました。

今年は、「みんなでつくろう」というテーマで行われ、作品展示会場の飾りつけや、会場内・外準備・当日の茶道体験やバザー・ゲーム・模擬店・喫茶等に利用者がスタッフとして参加し、お客様のおもてなしをしました。表彰は、表彰規定を制定し選考委員会を設け、模範的な生活を送られた方が表彰されています。作品賞も8名の方に授与されました。

アトラクションでは、石岡中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が披露されました。アップテンポな曲にダンスを織り交ぜた演出で盛り上がり、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。その他にも合奏クラブによる演奏や華道会による生け花作品の展示、茶道会による茶道体験コーナー、喫茶にも多くのお客様が来場し賑わいました。

翌日、職員と利用者が一丸となって作り上げた文化祭のお祝いと慰労を兼ねてお寿司を食べました。皆さんお疲れ様でした。

バーベキュー

慈翠舘では季節を感じながら食事を楽しむ行事を行っています。今年はバスが故障してしまったため、十数年ぶりに慈翠舘のグラウンドでバーベキューを行うことにしました。

準備を整え、天気予報も雨の心配なしと絶好のバーベキュー日和のはずでしたが、当日は朝から雨が降ってしまい、グラウンドでのバーベキューは中止になってしまいました。調理職員が前日から用意していた食材を厨房で調理し、高木会長を招いて食堂で食べました。

丁度食事時に日差しが戻ってきたこともあり、利用者からは「やっぱり外で食べた方がうまいよ」という声が聞かれましたが、皆さん美味しそうに召し上がっていました。次回は愛宕山で出来るといいですね。

シルバーリハビリ指導会の皆さんとストレッチ

シルバーリハビリ体操

慈翠舘ではカラオケや書道、手工芸等の趣味を充実させる目的で毎週クラブ活動を実施しています。運動クラブでは、月に1回石岡市のシルバーリハビリ指導士会の方々を招き、利用者と一緒にリハビリ体操を行っています。

始めは手をグー・パーと動かしたり腕を伸ばす運動等軽めの動きで体を慣らしていきます。足踏みをしたり体を伸ばしたり、途中にあべこべな動きをする動作が入ると、混乱してしまって互いに確認する人もいました。

中盤になると、より負担のかかる体操を行う様になります。普段、身体の使っていない部分を存分に動かす体操を行いました。一人でやるのが難しい方は職員がサポートに入ります。

十分に体を動かし息が上がってきた所で、最後に嚥下体操を行いました。「ぱたか、あいうえおあお」、等と発声練習をしたり首を動かす・頬を動かしたり膨らませる等して口や舌をたくさん動かしました。

これからますます寒くなってきますが、少しでも体を動かし、健康を維持して行きましょう。シルバーリハビリ指導士会の皆さん、ありがとうございました。

新任職員紹介

看護師　谷貝（やがい）　鈴子（れいこ）

（平成28年10月採用）

10月17日より、慈翠舘で勤務することになりました谷貝鈴子です。今までは病院での勤務が長く、施設での仕事は初めてなのでとっても緊張をしております。

現在家族は、二人の子供達はそれぞれ独立しており、主人と二人だけです。

一日も早く私に課せられた業務をマスターすると共に、利用者の方々の名前を覚えたいと思っておりますので職員の皆様よろしくお願いいたします。

✤職員研修・会議

メンタルタフネス研修　10月6日・27日

アンガーマネジメント研修　10月14日・21日

✤11月の行事

文化祭　11月3日

文化祭慰労会（食事会）　11月4日

勤労感謝祭　11月22日

●特別養護老人ホーム

明翠苑（めいすいえん）だより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六二〇

いも煮会の余興

いも煮会

10月27日、「いも煮会」が行われました。

「いも煮会」は、皆さんに秋の味覚を少しでも味わって頂けるようにと考えて企画しているものです。

今年も、余興で石岡市のお祭りのお囃子を慈翠舘舘長と職員の息子さんに披露して頂きました。

利用者からは、「お囃子を見ることができて嬉しい」「顔見知りの舘長に会えて嬉しい」などの声が聞かれました。

昼食では秋の味覚ということでいも煮汁の他に、三色おにぎり、秋刀魚の南蛮漬け、柿の特別メニューを召し上がって頂きました。

皆さんは、「とてもおいしい」「秋は美味しい物がいっぱいあるね」などと喜ばれていました。

これからも、皆さんが楽しく生活して頂けるようにと職員も一生懸命考えてまいります。

座談会・誕生会

施設では、毎月1日に座談会を実施し今月の予定・行事などをお話ししたり皆さんの要望などを聞いています。

同時に2ヶ月に1回誕生会を実施しています。

誕生会は、「おめでとうございます」と皆さんと一緒にお祝いします。今年は、お名前と誕生日の日にちがプリントされた赤いTシャツをプレゼントしました。皆さんとても喜ばれて着ています。

面会の方へ

11月に入り、インフルエンザなどの感染症が流行する季節となりました。

面会の際には、入口で手指消毒をし、備えつけの体温計で検温していただき、マスクを着用して面会してくださいますようお願い申し上げます。

ふぁみりー通信

10月の出来事

10月３日　「座談会・誕生会」を実施いたしました。皆さんの食べたい物の要望などを聞いたりしました。

10月６日　「滴翠会秋季運動会」が行われ、明翠苑利用者も36名参加しました。皆さんとても頑張っていました。

10月13日　「十三夜」で各食堂に、すすき・お団子・けんちん汁などをお供えし、昔ながらの慣習を味わいました。

10月15日　「合同慰霊祭」を行いました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしました。

10月22日　「ふらんす亭食事」が開かれ、とりそぼろ丼セット・ホッケ焼き魚定食・味噌ラーメンセット・サンドウィッチセットの中から選んで召し上がって頂きました。

明翠苑ニュース

（10月分）

面　会	78件	延110名来苑
外　出	０件	外泊０件
ショートステイ	６名	延45日利用
ボランティア		
売店ボランティア	１名１日来苑	
北浦団地ボランティア	３名１日来苑	
理美容ボランティア	１名２日来苑	

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

万　寿　会

明翠苑利用者の自治組織「万寿会」があります。活動内容は、２ヶ月に１回行っている誕生会の開催とお渡しするプレゼントの購入、お祝い事や法要の時にお花を供えたり、亡くなった方へ香典を用意したり、100歳を迎えられた方に賞状と記念品の贈呈などをしています。

「万寿会役員」は、利用者の皆さんの中からの代表４～５人と職員４人で構成され、年に４～５回ほど定例の会議を開催しています。会議には、施設長、生活相談員、介護職員も加わって行なわれています。

その中では、施設運営全般についての意見交換などが行われ、利用者からの質問や要望にこたえたりしています。また「万寿会」の活動内容の改善案や誕生会のプレゼントの内容検討など万寿会会費の予算計画や使用状況・決算報告等が会議の中で行われます。

利用者の皆さんの意見を施設運営に反映させたり、施設の方針を利用者の皆さんに伝えていただくという役割を担っています。

今後も皆さんが安心・安全で笑顔がたえない楽しい生活が送れますよう対応してまいります。

●デイサービスセンター

華翠会館だより

石岡市半ノ木一一四八〇
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

秋のドライブ　愛宕山

社会福祉法人滴翠会 合同慰霊祭

10月15日、法人40周年を記念し合同慰霊祭が行われ、利用者様10名が参列しました。

当日は華翠会館ホールが会場となり美しい花々をふんだんに使った祭壇が設けられ厳かな雰囲気の中、式が執り行われました。

この節目に改めて職員一同気を引き締め、利用者様主体のサービス提供に今後とも取り組んでまいります。

感染症防止についてのご協力お願い

インフルエンザやノロウイルス等の感染症が多くなる時期です。

施設内では感染予防の為、手洗い、施設内消毒等に努めておりますが、ご家庭におかれましても健康管理に十分ご注意いただきますようご協力をお願いします。

デイサービス日誌　10月17日（月）

利用者数　11名（男４名　女７名）
レクリエーション　秋のドライブ～愛宕山

笠間市の愛宕山へドライブに行きました。まだ紅葉には早かったのですが、畑の柿の実が色付き始めていたり、菊の花やコスモスが咲いているのを見ると秋の訪れを感じました。帰り道で「ゴハン旬シュン」（羽鳥）に寄り、レトロな雰囲気の店内で、フワフワ柔らかなシフォンケーキと豆挽きコーヒーを堪能し、食欲の秋も満たされました。

デイサービス日誌　9月3日（土）

利用者数　９名（男０名　女９名）
レクリエーション　芋がら作り

利用者様のお宅から、たくさんのヤツガシラの茎をいただいたので、早速芋がらを作る事になりました。灰汁で手が真っ黒にならないようゴム手袋を着け、新聞紙を広げて取りかかります。昔取った杵柄で、皆さん驚くほど手さばきが良く、あっと言う間にむいてしまいました。上手に乾燥させ、美味しくいただけるのを楽しみにしています。

明翠苑居宅介護支援センターだより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六三四

介護職員の医療行為

地方新聞のトップに「介護士に医療講座」という記事が掲載されていました。

記事は介護施設で医療処置が必要な利用者の増加が見込まれることもあり、介護職員が医療的な視点を養うとともに知識を習得することを目的として看護師が介護職員に対して講義や実地的な演習を始めたという内容でした。

介護が必要なお年寄りが利用している施設で、直接介護に携わっているのは介護職員です。食事や排泄・入浴の介助はもちろん、身の回りのお世話や話し相手になったり相談に乗ったりとその内容は多岐にわたります。特に入所施設となれば朝から晩まで途切れることなく交代で介護しています。

それでも介護職員の医療行為には制限があります。10年ほど前までは、普段誰でも当たり前に行っている爪切り・耳掃除・シップ貼り・目薬の点眼・軟膏塗布・検温や血圧測定まですべて医療行為として看護師でなければできなかったのですが、介護職員も行っていいことになりました。

記事の最後に「平成24年からは県の認定を受ければたん吸引と経管栄養の処置ができるようになった」という記事が載っていましたが、介護職員が認定を受ける為には50時間もの講習を受けた上で試験に合格し、実技指導を受けなければなりません。その研修を受けるにも人数に制限があっていつでも受講できるという訳ではないのです。

在宅で家族がたん吸引や経管栄養の処置を行うのに資格や研修はいらないのですが、プロである介護職員は先の手順を踏まなければできないのです。

そういう理由もあって経管栄養やたん吸引が必要な利用者を受け入れられる施設は多くありません。特にたん吸引は夜間も必要な場合が多く、特別養護老人ホームなど夜勤を行うのが介護職員という施設では受け入れできず、看護師が夜勤を行っている一部の老人保健施設や療養型医療施設に限られてしまうのが現状です。

今後はより多くの介護職員が研修を受けて技術を習得し、重度の要介護者の受け入れができるようになればいいと思っています。

ケアマネジャー　井川　由美子

私のMENU（メニュー）

☆ポークソテーシャリアピン風　（1人分 132kcal）

「シャリアピン風」とは、玉ねぎを使用したソースです。玉ねぎには血液サラサラ効果があります。

●材　料（2人分）

豚ロース 160g
玉ねぎ 100g／サラダ油 4g／バター 4g
ほうれん草 50g／赤パプリカ 10g
Ⓐ塩 0.4g／こしょう 少々
Ⓑおろし玉ねぎ 40g／おろしにんにく 1g
Ⓒしょうゆ 18g／みりん 18g／酒 18g
Ⓓ塩 0.4g／バター 4g

●作り方

①豚肉はⒶで下味をつけ、Ⓑに15分ほど漬ける。
②サラダ油を熱し、①の両面を焼く。
③玉ねぎはみじん切りにして、バターとサラダ油で炒め、Ⓒを合わせて調味する。
④ほうれん草はボイル後、パプリカとⒹを使用しソテーする。
⑤①を盛り付け、③をかけて④を添える。

慈翠舘 栄養士　池﨑久美子

今月のことば 20

下問（かもん）を恥じず

目下の者にわからないことを尋ねるのを恥としない。
下問を恥じるようでは進歩はない。
〈論語〉